

第六十回句会 俳句

【高点句】

- ☆ひしめきてひしめきあひて鮭遡る 〈千恵〉
- ☆ままごとに入りたさうに赤とんぼ 〈眞澄〉
- ☆断捨離の本読み返す夜長かな 〈童心〉

【各自一句】

- ・石狩の栄華の夢や鮭を食む 〈伸子〉
- ・痩せ秋刀魚おろしに主役譲りけり 〈緑〉
- ・長き夜の二軒目はジャズニューヨーク 〈茂〉
- ・ふるさとを映すテレビよ瀬祭忌 〈安津子〉
- ・吾が老いをうべなふ夜の長さかな 〈眞澄〉
- ・川のぼる一途な鮭の母性かな 〈童心〉
- ・きず深く喘（あえ）ぎ血を吐き鮭のぼる 〈莫院〉
- ・つるされし村上の鮭世を見張り 〈青蛙〉
- ・鮭一尾中骨レシピ検索す 〈剛至〉
- ・秋の空シンメトリーの大鳥居 〈一馬〉
- ・新米やレターパックで文と香と 〈撫子〉
- ・書肆（しよし）の灯を更に昏めて秋の雨 〈明美〉
- ・停電の夜の子守唄月の窓 〈二衣〉
- ・焼鮭の香る朝餉や父偲ぶ 〈徳人〉
- ・こほろぎや一つしかない子守唄 〈郁代〉
- ・稲穂一本添へて伊予より宅配便 〈千恵〉

*以上、48句（3句ずつ16名）より、選句は16名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で3句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）